

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	45	学校名	仙台市立上野山小学校	校長名	石垣 恵
------	----	-----	------------	-----	------

- 1 取組のタイトル、テーマ
環境教育について



- 2 取組の紹介
(1) 環境保全

5年生の総合的な学習の時間では、震災遺構荒浜小学校見学に伴い、海辺の清掃活動を行いました。語り部の方々から海の怖さだけでなく、海が生活にもたらす恩恵についても学習をしました。この学習を通して海の環境の保全について関心を持つことができました。

そこで、児童一人一人が「SDGs とは何か」について調べ、海の生き物を守る取り組みや環境を保全するための取り組みについても調べました。「海を守る活動に参加する。」「プラスチックごみを決められた場所、方法で捨てる。」などの意見が見られ、環境保全について理解を深めることができました。

また、上野山小学校で行った上小まつり「こどものまち〜ほのぼのゆめタウン〜」では、5年生を中心に、「環境を守るためにできること」を考え、「ごみ分別ゲーム」を実施しました。3～6年生が運営する市役所で実施し、多くの児童や教師、地域や外部の方々に参加してもらいながら、SDGs や環境保全について広めました。



- (2) 策川探検

上野山小学校には、周辺を流れる「策川」があります。3年生の総合的な学習の時間では、事前学習として地域の方を講師に招き、策川に生息する生き物、自然について学びました。また、別日に講師の方と一緒に策川へ行き、川の周辺を散策したり、川の中に入ったりして、生息する生き物について観察し、調べることで、理解を深めました。

児童は地域を流れる策川にドジョウやエビなどの生き物がいることに驚き、目を輝かせて自然と触れあっていました。



- 3 取組の成果（児童生徒の変容）

海や川など、実際に見たり、自然に触れたりする活動を通して、環境を守る大切さや生き物の尊さに気付きました。また、経験を児童一人一人がまとめることで、海の豊かさを守る意識や、地域の自然の豊かさに気付くことができるようになり、自然環境や生き物への興味・関心も高まっています。